

インターバンクの声（2016 年 5 月 20 日）

ゴールデン・ウィークが終わったばかりで夏休みを話題にするのは気が早いかもしれないが、何年も前からこの夏に欧州や中東への旅行を計画していた方々にとっては、計画を実行すべきか延期すべきか悩ましいところだろう。パリでの同時テロからずいぶん時間が経ったが、最近仕事で行った友人の話では厳戒態勢がまだ続いているらしい。テロの影響は欧州域内の人々の旅行にも影響しているらしく、昨日のエジプト航空機が行方不明になったのもテロによるものと断定されれば、旅行・観光関係のビジネスへの打撃がますます大きくなるだろう。最近は為替市場でも何かとリスク回避志向によって相場の展開が変わるが、この2、3日も米連邦準備理事会（FRB）が6月か7月に利上げするのかどうかを巡って市場が神経質になっている。昨夜はフィッシャーFRB副議長とダドリー・ニューヨーク連銀総裁の発言に注目が集まり、ダドリー総裁の利上げを正当化するほど十分に力強い可能性があるとの発言でリスク志向が弱まった。ただ、相場が大きく動くような決定打とはならず、市場は週末のG7財務相・中央銀行総裁会議に目が向き始めている。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。